ポスター発表

2025年11月2日(日) 13:00 ~ 13:50 | 会場(金森産業ホール)
**[P2] ポスター発表 #2**

## [P2-21] 場所表現の地理的曖昧性を解消するための質問内容生成

*清水 美緒奈[1]、林 純子[1]、久田 祥平[1]、若宮 翔子[1]、荒牧 英治[1]、大内 啓樹[1] (1. 奈良先端科学技術大学院大学)

キーワード：ジオコーディング、Vision-Language Models

場所表現の地理的曖昧性は，ジオコーディングにおいて重要な課題である．従来の研究では，場所表現が登場する文脈情報の有用性が示されている一方で，文脈情報を考慮しても位置が特定できない場合も少なくない．そこで本研究では，複数の候補POIの中から意図された場所を特定するため，周辺環境に基づくユーザへの確認質問を自動生成するフレームワークを提案する．提案手法では，Vision-Language Models（以下，VLM）を用いて各POI周辺の360°ストリートビュー画像を解析し，候補間を識別する手がかりとなる視覚的特徴をテキストとして抽出する．本手法を評価するため，日本国内の多様な地域・カテゴリから曖昧なPOIペアのデータセットを構築し，VLMによる手がかり生成と人手による手がかりの有用性の評価を実施した．その結果，都市部のような周辺景観が似たPOI間では手がかり生成が難しいことが分かった．

©一般社団法人地理情報システム学会